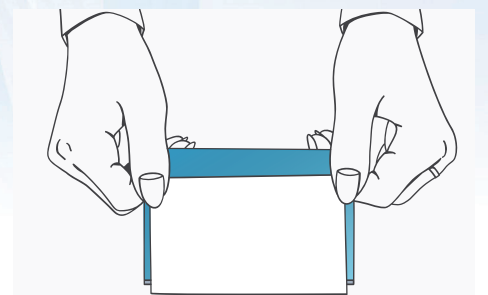


名刺について思う

仕事柄、名刺交換は欠かせません。お会いした方には必ず名刺をお渡しするのですが、最近名刺を貰えないケースや、貰ってもメールアドレスが入っていないケースが多々あり、自分を、会社を閉ざしているのではないかと思う時がありますし、連絡の取りにくさを感じることがあります。デジタル社会においては企業の発展や自身の向上等、やりとりや情報交換においてメールアドレスは必須ではないかと思っています。

企業やお役所によっては全員には名刺を持たせないところもあるようです、又携帯していても渡さないケースもあるようですが、営業畑出身の私としてはいかがなものかと思っています。

一期一会でお会いして名刺交換、そこから様々なお付き合いが始まり、様々な方と繋がっていき、そのことによって情報の行き来や活動の幅やネットワークが広がり、強いては自分のスキルアップに繋がっていくものだと思います。そうしなければ様々な機会を失い、お付き合いも限られた狭い世界の中だけになります。ネットで検索すれば何でもわかる時代だからという人もいますが、そこから生まれてくる様々なことを経験してきた人達との生のつき合いは、ものの見方や反応、対応がいろいろあって生きた勉強になることが多いのではないのでしょうか。



私の名刺作成・携帯の考え方

1. 企業人としては必ず名刺を持ち、必ず携帯をしておく
(マナーのひとつ)
2. 名刺を持つことによって責任感や連帯感が生まれる
(帰属意識が生まれる)
3. 所属先、担当、役職が見えるように(責任感の植え付け)
4. 郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス必須
(連絡がしやすい、つきやすい)
5. 携帯電話番号があるとなお良い
(コミュニケーションがとりやすい、SMSが出来る)
6. ホームページの掲載
(最近では企業の信頼性、信ぴょう性がそこから見える)
7. 裏面に事業内容の記載
(事業内容が伝えられる、相談しやすい環境をつくる)
8. 悩みや相談ごと、頼みごとの先になる可能性大
(分身づくり)
9. いただいた名刺の整理と部署によっては社内ネットワーク
に登録する(企業の財産)
10. 業界によっては、特に営業系は名刺交換件数の目標を持つ
(目標管理のひとつ)
11. 名刺交換の仕方、その人、その会社の品位がみえる
(ビジネスマナーのひとつ)
12. 転属、転勤、退職、転職時に役立つ
(お付き合いの連続性が生まれる)

あらためて名刺1枚でこれだけのことを思い浮かべました。「たかが名刺、されど名刺」皆さんの中ではもっとあるかもしれません。一度この機会に、名刺が持つ重要性を考えてみてはいかがでしょうか。名刺1枚から生まれるものは大きいと思います。

